

第7回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和元年11月19日（火）

平成31年度第7回 東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和元年11月19日（火）午前10時～正午
- 2 場 所： 市役所会議棟第1会議室
- 3 出席委員： 荒川進、大月孝彦、和田孝、平松新太郎、杉本誠一、柳澤明、金山幸子、森脇千春、外池武嗣
（9人）
欠席委員： （0人）
- 4 事務局： 高田社会教育課長、真中係長、尾又主事（3人）
- 5 内 容：
 - （1）議題
 - ① 起草委員による提言原稿について
 - （2）連絡・報告事項
 - ① 都市社連協第2ブロック研修会について
 - ② 第50回関東甲信越静社会教育研究大会について
 - （3）その他
 - ① 令和元年都市社連協交流大会・社会教育委員研修会について
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： なし

<会議内容>

○荒川議長 みなさんおはようございます。ただいまより第7回東大和市社会教育委員会議を始めます。議題に入る前にお手元の資料の確認をさせていただきます。事務局、お願いします。

○尾又主事 それでは本日の会議資料の確認をさせていただきます。まず、1枚目が本日の会議の次第でございます。続きまして、起草委員による提言原稿でございます。その他配布資料として、「令和元年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会の開催について」です。配布資料は以上でございますが、漏れ等ございませんでしょうか。事務局からは以上です。

(1) 議題

①起草委員による提言原稿について

○荒川議長 それでは、資料等揃っておりますので、次第に沿って進めたいと思います。議題(1)起草委員による提言原稿について、内容を確認したいと思います。これから整理しないといけないので、気づいたところ、その時点でおっしゃってください。分担の部分について、前回と変更の場所があると思いますので、説明をお願いいたします。総論の部分は、ほとんど変更ありません。次に、金山委員・柳澤委員の部分について説明をお願いします。

《1-1 子どもの交通安全に関して》

○柳澤委員 1ページの表は全部埋まりました。交通事故の件数、内子どもの件数は、27年度まではぐーっと減ってきたんだけど、28年度またぽこっと増えて、29年度から減ったが、子どもは戻らないという実態です。子どもについては歩行中の飛び出しが多い。市の施策につきましても、協議会とか審議会別に記載しておりましたが、全部をまとめました。四角の中に「東大和市交通安全計画」は残しました。ただ、4点の重要課題のうち2点、「二輪車の安全対策の推進」と「飲酒運転の根絶」が漏れてしまいましたので追加いたします。小平八小の部分を追加しました。スクールガードにつきましても、三小と八小がなくて合計42名となっております。スクールガードマップについては、学区を円で囲って、スクールガードの立つ位置を黒丸にしてあります。3ページは前回とほぼ同じです。「大人の悪い見本」をご指摘があり「大人の良い見本」と直しました。

○荒川議長 ありがとうございます。データも大変でした。分からないところもあると思いますが。

○柳澤委員 実際に回っていると、黒丸以外のところにPTAの人が立っているところもあります。

○金山委員 マップを初めて公表できるのはいいと思います。

○荒川議長 中学校は全くやっていないのですか。

○和田委員 やってないです。小中で連携しましょうと話し始めています。

○荒川議長 スクールガードは立っている場所や人数を確認して、黒丸を付けて下さい。杉本委員のところをお願いします。

○高田課長 一小にスクールガード1名とありますが、スクールガードマップには黒丸がありませんが。

○柳澤委員 再度調べます。

《1-2 不審者からの安全に関して》

○**杉本委員** 大きく変えたのが5ページ、下半分の図式化、不審者情報の伝達経路をこのように作成しました。不審者の情報送信件数は、分かれば平成30年度も記載したいと思います。黒い太い矢印が、発信、白抜きの矢印が伝達の経緯、点線矢印は、緊急性のある場合と図式化しました。6ページ、Bの統一マニュアルはかなり省略しました。C、不審者から学童・生徒を守る抑止・予防は(1)は防犯カメラ旧型の更新、(3)ICカードの普及が30%、これを向上して欲しいです。全児童に無料配布などの方法をとって欲しいと提言します。

○**荒川議長** 大月副議長の部分で前回との変更点の説明をお願いします。

《2 自然災害からの安全》

○**大月副議長** 自然災害からの安全については、「(1)自然災害から子どもを守るために現状を知る」「(2)子どもの自然災害からの安全に関する課題」「(3)子どもの自然災害からの安全に関する提言」の3項目を立てました。その後、「付則-1 子どもの安全安心を支える社会教育」「付則-2 共助『学校と地域による防災訓練』」を付けております。前回提出の「自助・共助を知ること・動くことの大切さを促す」の2ページ分は、「付則-3 保護者に対し自助・共助を知ること・動くことの大切さを促す」に1ページにまとめてあります。

「(1)自然災害から子どもを守るために現状を知る」では、市内小中学校を調査して表にまとめました。「市内小中学校の防災への取組について」の表では、市・学校・家庭・子どもの取り組みについてまとめました。いずれにおいても、子どもは受身、大人の意向で左右されるのが現実であり、受身から自発性へと導くことが必要だと思います。

「①防災教育を実施しているか ②避難訓練の取り組みについてを考える」の表ではマニュアルは全校にあり、引き取り訓練も全校で実施しているが、地域とタイアップし、また、定期的に防災訓練を実施しているのは二小だけです。

「(2)子どもの自然災害からの安全に関する課題」は(1)現状から考えると、防災教育は親任せでいいか、マンネリしがちではないか、自助・共助の必要性を感じているか、普段からの話し合いが不可欠などがあげられます。

そこで「(3)子どもの自然災害からの安全に関する提言」として、「自助、家族間」へは、「家の中の安全対策をしておく・家族間での話し合い・避難所生活を意識して体験しておく・近隣のお付き合い」を提言したいです。「学校」へは、「置き靴・防災教育・連絡先の把握・保護者に対して防災意識を高める・避難所となった場合に危険な場所はないかの確認・子どもを守るために何が出来るか映像を通して考える場の提供」を提言します。「地域」へは、「地域住民のコミュニケーションの場となっているか、学校では対応できない部分を補助するためにも、3者(学校・保護者・地域)、4者(学校・保護者・地域・市)による対策のための安全委員会を設ける必要性。子どもが体験できる場を設ける。」と提言したいと思います。資料としては、「東大和市立第二小学校 第二小学校防災対策委員会 避難所管理運営マニュアル」表紙・裏表紙、前回は付けた「東大和市立第二小学校 防災訓練実施計画」、及び、今回は「東大和市立第二中学校における避難所設置訓練実施計画」「東大和市立第二小学校の避難所設置訓練/校舎等点検結果報告書」「東大和市立第二中学校の避難所設置訓練/校舎等点検結果報告書」を付けました。学校運営協議会が防災組織になるといいと思います。

○荒川議長 運営協議会は経営会議だから、防災まで広げるのは難しいでしょう。

○柳澤委員 課題として掲げられていることをどう対応したら良いかを提言にしたらどうでしょうか。

○荒川議長 森脇委員の部分をお願いします。

《3-1 子どもの虐待からの安全に関して》

○森脇委員 前は箇条書きで提出いたしましたが、今回は文章化しました。「1 虐待の現状と問題点」では、厚生労働省のデータを使いました。「2 東大和市における虐待に係る対応策」では、かるがもなどでの対応策を、前回同様記しました。「虐待を未然に防ぐための取組」は、前回より、文章を膨らませました。「3 虐待対策の課題」では、前回の「6、7」を一つにまとめました。学校内・行政機関相互・個人情報保護の課題も追加しました。「4 子どもを虐待から守るために」では有効な提言が、中々思いつきませんでした。

○荒川議長 地域づくりが出来た上でなければ、干渉できない問題ですね。では、外池委員の部分をお願いします。

《3-2 こどものいじめからの安全に関して》

○外池委員 4本立てでしたが、3つの柱に改めました。前文は変更して残しました。「1 いじめ問題の近年の現状、問題点」は、件数や、SNSについて追加しました。「2 いじめに係る東大和市の施策例と考察」では、「(1) いじめ防止推進対策条例の基本理念」について言及しました。「(2) シンポジウムの運営実践から学ぶ」は、シンポジウムについて、詳細に述べました。「(3) その他の東大和市の施策」では、前回触れなかった「学校いじめ対策委員会」「いじめ電話相談」「いじめに関する調査」「いじめ防止の授業」について、説明を入れました。「(4) いじめ防止、安全・安心に係る先進校実践例」では、「小平八小」だけでなく、「東大和十小」も載せました。「3 いじめ防止、課題解決に向けて」は、5つだった項目を4つにまとめ直しました。

○森脇委員 いじめ件数の増加は、東大和市でも、同様ですか。

○平松委員 学校によってまちまちです。

○荒川委員 本日の議論によって修正したら、今月いっぱい事務局にデータを送ってください。事務局から私に転送していただきます。私が、体裁等整えます。どうぞよろしくお願いします。

(2) 報告事項について

①都市社連協第2ブロック研修会

○森脇委員 国分寺で開催されました。

○荒川議長 国分寺市で赤米が発見され、その栽培を教育委員の1人が関わって、学校で行った実践の発表でした。学校と社会教育委員との連携の事例です。

②第50回関東甲信越静社会教育研究大会

○荒川議長 講師は良かった。

○大月副議長 シンポジウムはまとまらなかった。3Kの健康、金、生きがいやきずな。

○荒川議長 年に1回以上公民館を使っている人は3割。3割社会教育。東大和でもそうですか。

○尾又主事 市民意識調査によりますと、集会施設の利用が年1回以上が3割です。

○荒川議長 3K。健康、金、生きがいやきずな。

(3) その他

①令和元年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会の開催について

○尾又主事 本件集会に参加される方を確認させてください。荒川議長、杉本委員、柳澤委員、金山委員、森脇委員、外池委員ですね。懇親会にご出席の方は。荒川議長ですね。以上のご出席状況について、提出したいと思います。集合は、12月14日土曜日、午後1時15分、三鷹市公会堂光のホール会場入口でお願いいたします。

○荒川議長 大月副議長、閉会の挨拶をお願いいたします。

○大月副議長 各委員の方々により、各テーマの読み合わせがほぼ完成し、本日の修正意見に従ってデータを変更し、事務局に送ってください。そのデータが荒川議長に転送され、提言に整えられます。どうぞよろしくお願いいたします。本日はお疲れ様でした。